



資料4-1

(参考)

# 二枚貝等に係る主な取組

---

令和7年1月

環境省

〔農林水産省・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県〕

# アサリに関する主な取組(令和6年度導入内容含む)

## 1 浮遊幼生調査【4県】

- 8地点で浮遊幼生を調査 (継続)
- 調査時期: 春季: 4~6月、秋季: 9~12月 (継続)

【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】



## 2 母貝団地造成【4県】

- 母貝団地を維持管理 (継続)
- きめ細やかな管理(母貝の移植放流) (新規導入)
- アシストスーツの実証 (新規導入)
- 母貝供給団地の試行 【長崎県】(新規導入)
- アサリの避難システムの試行【長崎県】(新規導入)

【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】



## 3 その他の実証的取組

- 低塩分化リスクの低い沖合への稚貝放流 【福岡県】(継続)
- 高水温対策としての非干出域への稚貝放流 【福岡県】(新規導入)
- 餌料環境改善 【長崎県】(継続)

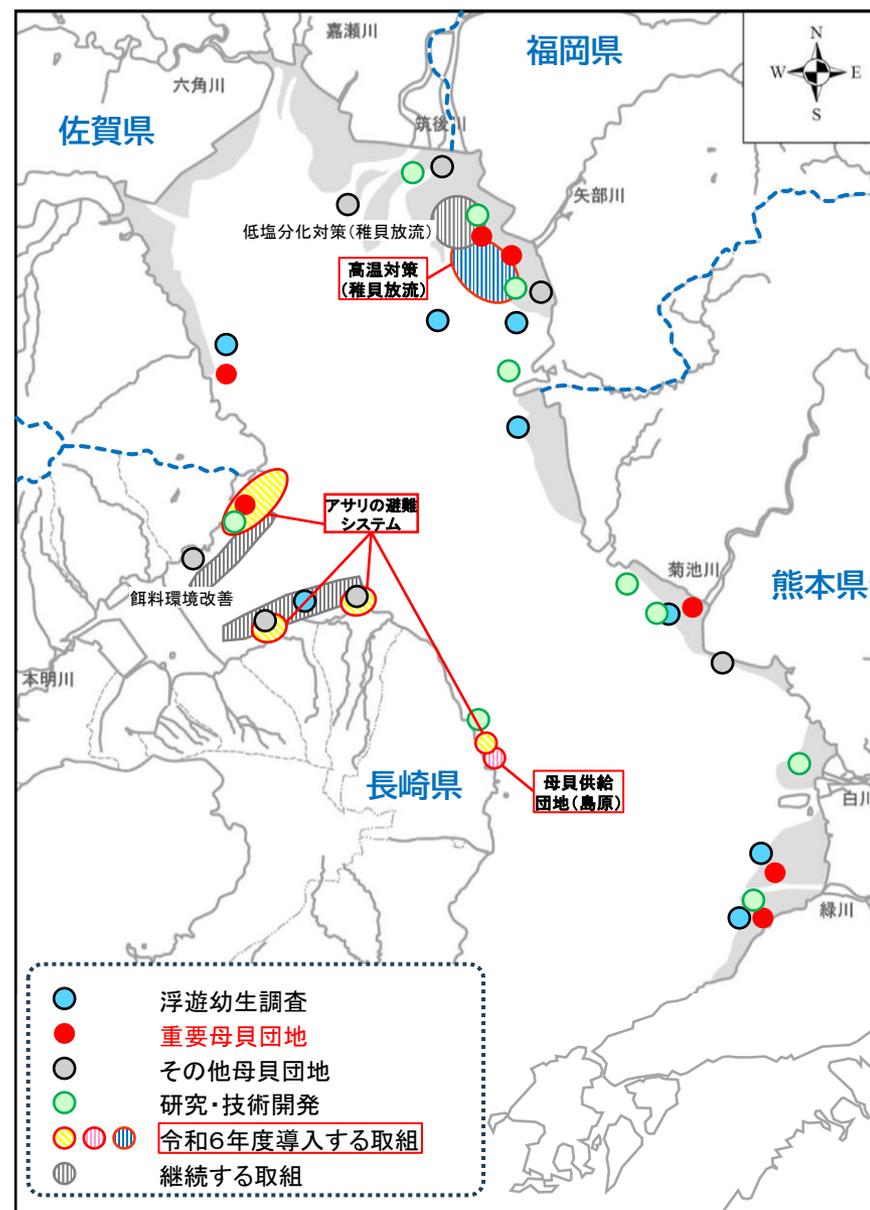
【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】

## 4 研究・技術開発

- 干潟での採苗・育成技術の開発【4県】(継続)
- 礫浜での採苗・育成技術の開発【長崎県】(継続)
- 天然種苗の移植技術 【佐賀県、長崎県】(継続)
- 中間育成技術開発 【福岡県】(継続)
- 冬季減耗への対応策の開発 【熊本県】(新規導入)

【有明海漁業振興技術開発事業】

【有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業】



# タイラギに関する主な取組(令和6年度導入内容含む)

## 1 浮遊幼生調査【4県】

- 11地点で浮遊幼生を調査 (継続)
- 調査時期:6~9月 (継続)



【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】

## 2 母貝団地造成【4県】

- 母貝団地の維持管理 (継続)
- 転地育成システムの着手 【福岡県】(新規導入)
- 共用母貝団地の着手【佐賀県、熊本県】(新規導入)
- バックアップ母貝団地の着手【長崎県】(新規導入)



【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】

## 3 種苗生産・中間育成

- 種苗生産【福岡県、佐賀県、長崎県】(継続)
- 中間育成及び預託システム【4県】(継続)
- 民間企業等への技術移転への着手 (新規導入)

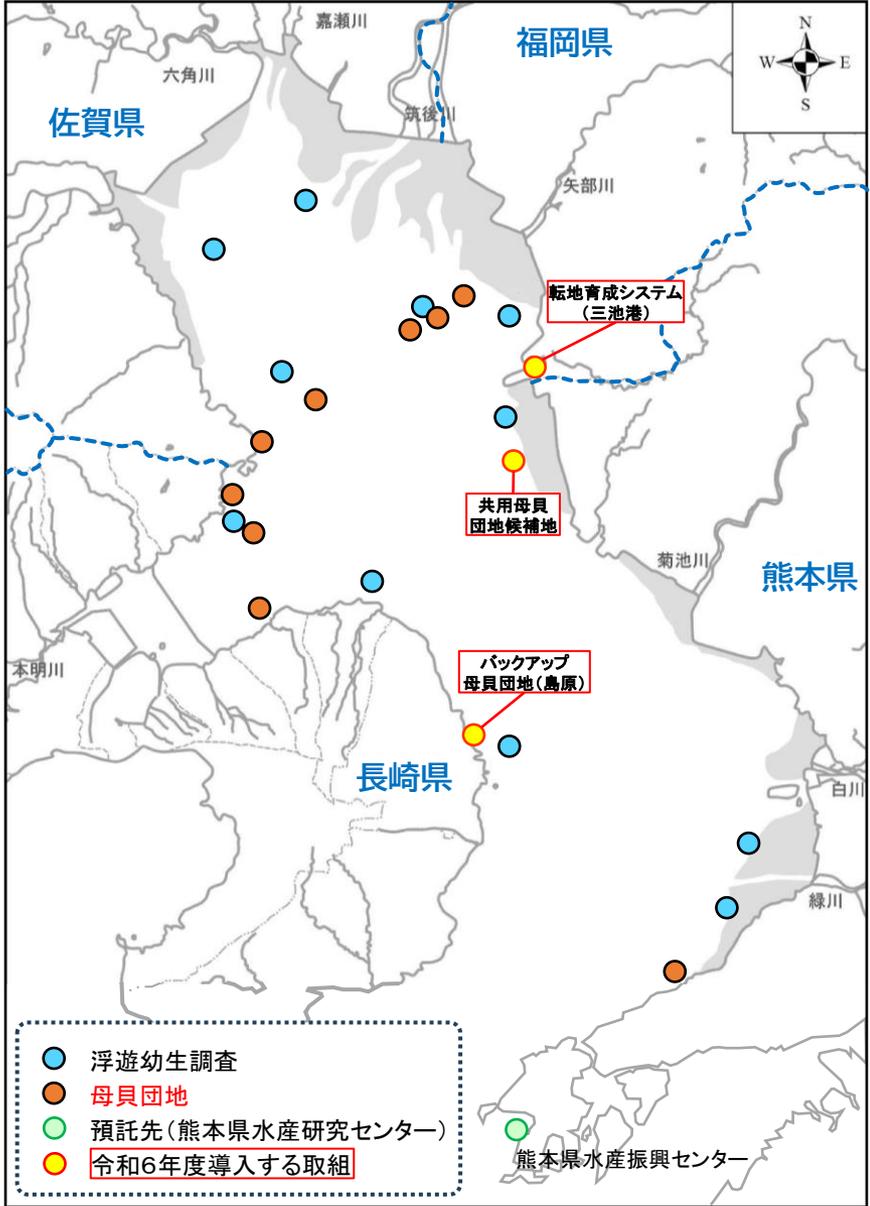
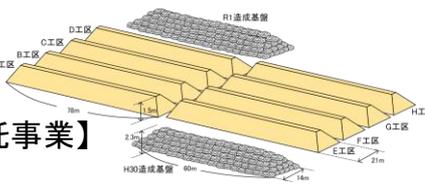


【有明海漁業振興技術開発事業】

## 4 その他

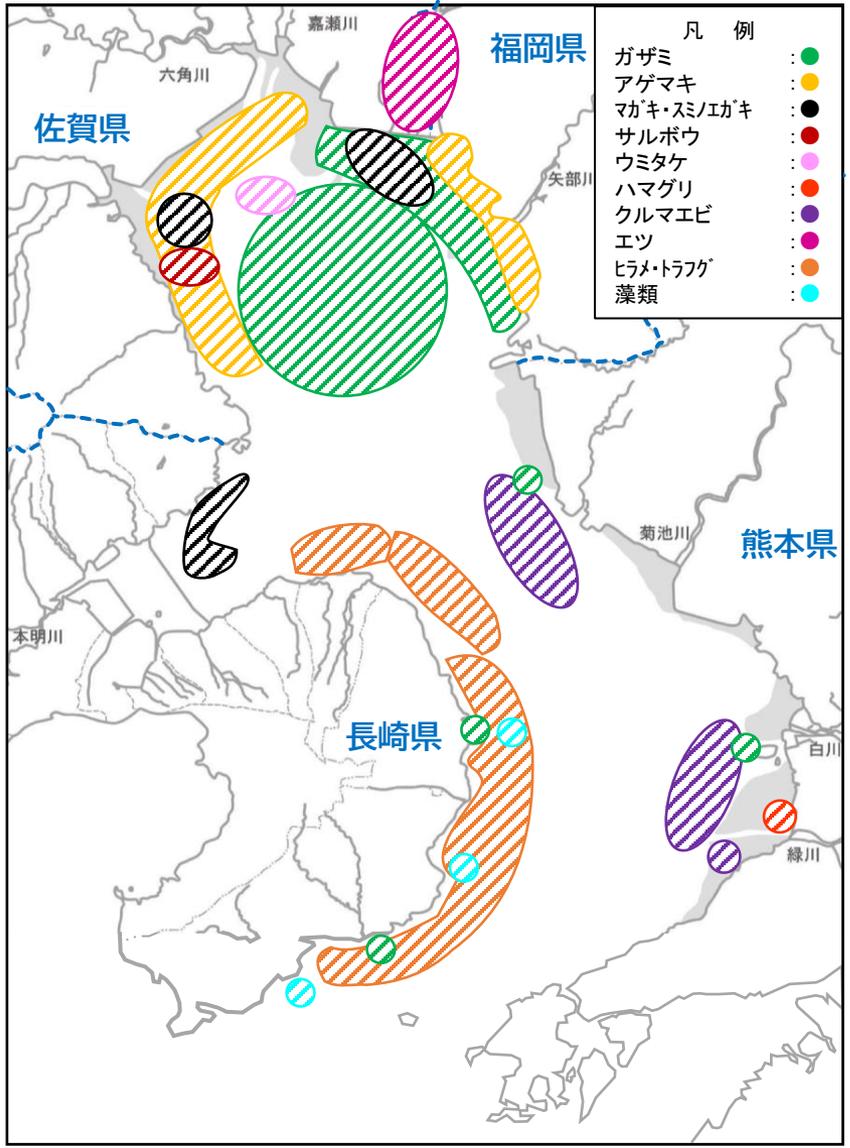
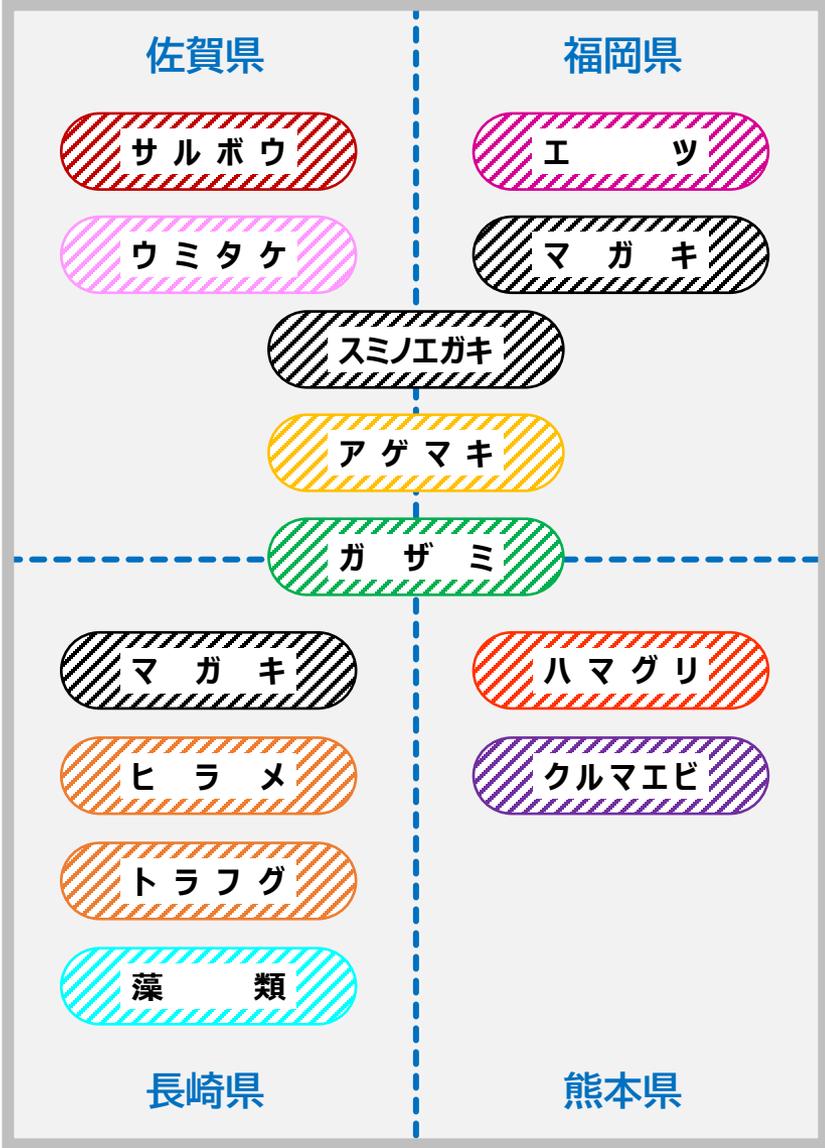
- ・IoT、ICTシステムの導入検討 (継続)
- ・知見を活用した漁場環境改善 (継続)

【有明海特産魚介類生息環境調査委託事業】  
 【有明海漁業振興技術開発事業】  
 【有明海水産基盤整備実証調査】



※ 令和6年8月有明海・八代海等総合調査評価委員会水産資源再生方策検討作業小委員会(第14回)資料及び令和6年9月第37回有明海漁場環境改善連絡協議会資料をもとに環境省にて作成

# 令和6年度 その他の重点魚種に関する実施対象海域



※ 令和6年2月有明海・八代海等総合調査評価委員会水産資源再生方策検討作業小委員会(第13回)資料及び令和6年3月第36回有明海漁場環境改善連絡協議会資料をもとに環境省にて作成

# 令和6年度のその他の重点魚種に関する取組

| 対象種    |   | 目的   | 取組内容   |
|--------|---|--|--|
| ガザミ    |    | ・漁獲量の増加に向けた効果的な種苗放流の実施                               | ・最適な放流技術開発<br>・放流効果の検証                                 |
| アゲマキ   |    | ・資源回復に向けた母貝の保護・育成                                    | ・移植による母貝団地の造成<br>・過年度移植のアゲマキ生息状況調査<br>・人工種苗を用いた養殖技術の開発 |
| マガキ    |    | ・有明海における安定したカキ養殖の実現に向けた養殖技術の開発<br>・海洋環境変化に対応した品種等の開発 | ・それぞれの地先に合った養殖技術の開発<br>・高水温に耐性のある品種の作出等                |
| スミノエガキ |    | ・低塩分化に強いカキ品種の養殖導入                                    | ・採苗適地の探索、採苗手法の開発<br>・それぞれの地先に合った養殖技術の開発                |
| サルボウ   |    | ・種苗放流による資源回復   | ・種苗生産技術の開発<br>・放流技術の開発                                 |
| ウミタケ   |    | ・資源回復に向けた漁場改善  | ・効果的な漁場造成の実証   |
| ハマグリ   |    | ・資源回復に向けた母貝の保護育成                                     | ・母貝の保護育成の実証  |
| クルマエビ  |    | ・漁獲量の増加に向けた効果的な種苗放流、漁場環境の改善                          | ・効果の高い放流方法や放流適期の検証<br>・効果的な漁場改善（海底耕うん）の実証              |
| エツ     |  | ・資源回復に向けた種苗生産、種苗放流技術の開発                              | ・種苗生産の省力化技術の開発<br>・放流効果の検証                             |
| ヒラメ    |  | ・漁獲量増加に向けた種苗放流                                       | ・種苗生産・放流技術の開発  |
| トラフグ   |  | ・漁獲量増加に向けた種苗放流                                       | ・種苗生産・放流技術開発<br>・効果的な資源管理技術の開発                         |
| 藻類     |  | ・養殖の生産性向上<br>・海洋環境変化に対応した品種等の開発                      | ・養殖技術の開発   |